

いお
たお

労福協

大分県労働者福祉協議会
機関紙 第66号

大分市中央町4-2-5
ソレイユ 6F
☎(097)533-1106
発行人 嶋崎 龍生
2006. 1. 1発行

一人ひとりに
温かい福祉が
届きますように

大分県労働者福祉協議会
会長 嶋崎 龍生



大分県労働者福祉協議会に
集う県下会員組織の皆様明け
ましておめでとうございます。
昨年中の県労福協の各種取
り組みに対する暖かいご理解
とご協力に、事務局を代表し
て厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎えて誰もが「い
い年でありますように」と願
い気持ちも新たに「頑張ろう」
と誓いますが、一方では働く
仲間にとって看過できない諸
課題も多く残っており、依然
として厳しい時代が続くこと
とも予測せざるを得ない年明
けでもあります。

我が国への競争原理に基づ
く市場万能主義の導入は、私

たちの職場環境を大きく変化
させました。正社員からパー
ト等への雇用形態の変化や人
事処遇諸制度の見直し等によ
り人件費は削減され、働く仲
間の収入は逆に減少し続けて
います。そうした厳しい状況
下にある勤労者に対して、追
い打ちをかけているのが政府
が進める増税路線です。サラ
リーマンの定率減税はこの1
月から半減、そして07年には
廃止予定であり、続いて給与
所得控除の縮小・配偶者控除
の廃止や特定扶養控除の廃止
等、働く仲間をターゲットに
した安易な増税が予測されて
います。さらに社会保険料も、
03年のサラリーマン医療費窓
口負担増に続き04年10月には
厚生年金保険料が引き上げら
れました。この厚生年金保険
料は17年まで毎年引き上げら
れるのです。勤労者世帯の税・
社会保険料の負担率は、10年
前の17.9%から19.1%まで上昇し、
さらに増え続けていきます。
自らの生活は、自らで守り、
自らで高めていくのが基本で
はありますけれども、それも

限界に近づきつつある時代だ
からこそ、「助け合い」を原
点とする相互福祉の精神をさ
らに開花させ、ひとりでも多
くの仲間を光をあてなければ
なりません。連合・中央労福
協・労金協会・全労済は、全
国の都道府県における地域を
拠点にワンストップサービス
（総合生活支援・サービス体
制）の実現に向けた共同の体
制づくりを進めていくことで
合意しました。これは、労働
組合と労福協・事業団体との
連携によって地域の支え合い
基盤を確立することを目標と
しています。もちろん、その
前提は、それぞれの事業団体
が安定的に運営され、かつ健
全に発展していかなければな
りません。福祉事業団体と労
働組合との連携をさらに強固
にしていくお手伝いも引き続
き進めてまいります。

引き続きのご支援とご協
力をお願い申し上げますと
もに、皆様方にとって実りあ
る1年となりますようご祈念
申し上げます。新春の挨拶とい
たします。



大分県労福協が主催する『福
祉研修会』については、11月
15日(火)13時からソレイユ7
階の大会議室で、労福協加盟
組織の役・職員約100名が出席
し、開催されました。

2005年度 福祉研修会

【構成会員団体】
分組庫済協連協会館協連
単 大・金 生協 療 生 会 福
別 労働 共 医 共 社 福
要 産 働 合 生 者 民 福 退
連主 労全 総 県 勤 県 労 地 高

ポート事業」と題する基調講
演に入りました。
労福協は、本年春から中央
労福協・連合本部・労金協会・
全労済本部の4団体が集まり、
少子高齢化社会の一層の進展
や団塊の世代の退職、さらに
は労働組合組織率の低下や市
場競争の激化など、「激変す
る環境下で勤労者の暮らしを
どのようにサポートしていけ
るか」という観点から議論を
重ねてきました。
小池氏は、この4団体会議
のメンバーであり、氏からは
労働組合と労福協・事業団体
の連携によって地域における
支え合い基盤を確立していく
ことが必要、そのための一つ
の手段として、連合地域議協
会を核に構成組織（各事業団
体）や加盟単組の役職員、議
員やNPO団体等がネットワー
クを形成して情報などのサー
ビス提供を行う「ライフサポ
ートセンター」を設立するとい
う「ワンストップサービス」
構想が提示されました。
つづいて、九州労働金庫大
分県本部の門口幸博副本部長
から「しあわせ創造運動の更
なる定着をめざして」と題す
る活動報告がパワーポイント
を駆使して、解りやすく、か
つ途中ではクイズなども交え
ながら、多重債務や利用者意
識の変化などへの労金として
の対応策が熱く語られたこと
です。

2005年度 労福協南部ブロック 研究集会

労福協南部ブロック主催の『05年度研究集会』が、11月1～2日、福岡市「全労済モルティ天神ビル」で、九州各県からの出席者140名をもって開催されました。



今回の研究集会は、毎年のように日本列島のあちこちで発生する『大規模災害への対応』という課題をメインテーマに据えたプログラムが設定されたところです。

基調講演 では、『地震はどこでも必ずやってくる』と題する埼玉大学工学部建設工学科の角田史雄教授の講演。

基調講演 では、福岡市生活安全・危機対策部防火課、泉政彦課長から『福岡市の防災―みんなで守ろう―わが家・わがまち』と題する福岡市としての大規模災害への対応。

基調講演 では、組織における対応を聞くという観点から、連合社会政策局 平木雅巳部長から連合としての『大規模災害対策の取組み』が語られ、そして問題提起として『私たちの経験と教訓』と題して、関係組織やNPOの方々から、95年1月17日の阪神・淡路大震災、97年1月のロシアタンカー原油流出事故、04年7月13日の新潟県大水害、04年10月23日の中越地震などの災害や事故発生時の対応が報告され、会場参加者を交えての討論が行われたところです。

大分県労協からも、労金・全労済・総合生協・県民共済会・勤労者医療生協・県生協連・県労福協事務局から合わせて11名がこの集会に参加し、2日間を通して『日本列島で自然災害から無縁な地域はない』『災害の経験と教訓を防災対策や災害復旧・復興に活かしていくことが重要』であることを今更ながらに認識したところです。

南部労福協 合同研修会



労福協南部ブロック・連合九州ブロック・九州労金・全労済の合同研修会が、12月12・13日の両日、宮崎県で開催されました。この研修

会は、沖縄を含む九州圏内の労福協・連合・労働金庫・全労済の役員が一同に会し、それぞれの団体の情報交換や目下の課題や取り組み方向について認識を深めるために年に一度開催されているもので、今回は、九州労金と全労済西日本事業本部の現状と課題について報告を聞くと同時に、健康をテーマに『血液の流れと健康について』と題する宮崎医科大学名誉教授・三原恒氏の講演を聞きました。

三原教授からは、現在日本人の死亡率は、悪性新生物（癌）がトップ、第2位と3位はほぼ同じ程度の死亡率で、心疾患と脳血管疾患が占める。この2つはいずれも血栓症によるものであり、したがって、癌と血栓症が日本人の2大死亡原因とも言えること。この血栓症予防のためには、血液をサラサラにすることが必要。そのための食べ物として納豆、飲料としては乙類焼酎・甲類は駄目、そしてもっとも効用があるのがミミズであること。先生からはユーモアを交えながら、納豆・焼酎・ミミズ、それぞれ血液に対する各種実験結果にもとづく極めて説得力のある話を聞くことができました。最後に、乙類焼酎も血栓症に効用があるようですが飲み過ぎは逆効果、くれぐれも注意を！

労福協クイズ

(23)

簡単な設問ですので奮ってご応募ください。

- ①大学等の入試が始まっています。お子様の希望校進学のお手伝いには、やっぱり労金教育ローン〇〇〇〇〇〇です。
- ②全労済大分県本部は2005年12月2日に第〇回理事会を開催しました。

応募方法

- ・ハガキに、①、②それぞれの答えを書き、住所、氏名、職場名を明記の上送付して下さい。
- ・締め切り2006年1月31日消印有効。正解者の中から抽選により、10名の方に図書券をお送りします。
- ・当選者発表は、機関紙67号

あて先

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号
大分県労働福祉会館(ソレイユ)6F
大分県労働者福祉協議会編集委員会宛

◎この機関紙へのご意見感想などお寄せ下さい。

第22回(機関紙65号) クイズの答え

5000 アスベスト

機関紙65号の第22回クイズに多数の応募をいただきありがとうございます。誠にありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10名の方が当選されました。また貴重なご意見感想ありがとうございました。

敬称略

園田 信之(大分市) 石川 信(宇佐市)
川良 澄子(日田市) 木許 雅春(津久井市)
大石 雅士(大分市) 堀 盛朗(大分市)
谷本 義則(津久井市) 川津 智子(日田市)
近廣 久則(由布市) 八巻 清美(大分市)

新年のご挨拶

財団法人 大分県勤労県民共済会

理事長 亀山 哲



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、県民共済会の事業に多大なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

特に、昨年からからの介護年金共済「アンド」の移行に際しましては、移行方法・新制度の内容について熱心なご議論をいただき、そして決定後はご理解と積極的なご協力をいただき、本当にありがとうございました。

「超低金利」という、予想せぬ環境変化があったとはいえ、当初お約束した契約内容を守ることができなくなったことについて大変申し訳なく思っています。

て、完全に独立した組織体として共済事業と公益事業を継続することになりました。二十七年間続けてきた総合生協共済事業との「表裏一体運営」の解消に加えて、介護年金共済の「新制度移行」という大きな課題を抱えての船出です。

「介護共済」は高齢化社会になくしてはならない「共済」です。「新介護共済」は低金利環境に対応でき、改正保険業法にも対応できる制度で、生・損保の類似商品に引けを取らない「共済制度」です。多くの皆さんに再び加入いただくよう全力で取り組む所存です。

取り巻く環境は今年も非常に厳しいと思われますが、役員一丸となって県民共済会ならではの「きめ細やかな、地域に根ざした」共済運動に取り組めます。

会員のみなさまの、旧に倍するご支援・ご協力のほどを心からお願い申し上げます。新年のご挨拶いたします。



制度内容が変わりました 医療扶助共済

免責日数の撤廃

2005年8月1日以降の入院より

入院共済金 7日以上入院で1日目より給付

1泊2日以上入院で1日目より給付

加入限度の拡大

次回契約更新時より

団体一律加入口数+20口の任意加入(最高60口)

団体一律加入口数と同口数までの任意加入(最高100口)

新登場

退職後の入院・手術保障 移行医療共済

加入資格

- 医療扶助共済に1年間以上加入しており、発効日において契約が終了する方
- 発効日の年齢が満40歳から65歳までの共済契約者および共済契約者の配偶者
- 医療扶助共済の契約口数以内の加入となります。

掛金と保障の概略

- 最高満81歳まで保障します。(退職時の年齢掛金から、掛金のアップはありません。)
- 払込方法は年払となります。
- 連続入院5日以上入院が対象で、最高180日間の疾病・災害入院共済金をお支払いします。
- 手術の種類により、入院共済金日額の5・10・20倍の手術共済金をお支払いします。
- 共済期間の満了日(満81歳)において生存していたときは、契約口数に応じて健康祝金をお支払します。
- 共済期間中にお亡くなりになったら、契約年齢に応じて死亡見舞金をお支払します。

	口数	年掛金	入院日額	手術共済金	健康祝金	死亡見舞金
60歳加入例	20口	19,680円	2,000円	1万円・2万円・4万円 (手術の種類に応じて)	2万円	2万円～6万円 (契約年齢に応じて)
	40口	39,360円	4,000円	2万円・4万円・8万円 (手術の種類に応じて)	4万円	4万円～12万円 (契約年齢に応じて)
	60口	59,040円	6,000円	3万円・6万円・12万円 (手術の種類に応じて)	6万円	6万円～18万円 (契約年齢に応じて)

年齢	年掛金	年齢	年掛金
40歳	9,000	53歳	15,120
41歳	9,360	54歳	15,600
42歳	9,840	55歳	16,080
43歳	10,320	56歳	16,800
44歳	10,800	57歳	17,520
45歳	11,280	58歳	18,240
46歳	11,760	59歳	18,960
47歳	12,240	60歳	19,680
48歳	12,720	61歳	20,400
49歳	13,200	62歳	21,120
50歳	13,680	63歳	21,840
51歳	14,160	64歳	22,560
52歳	14,640	65歳	23,280

新年のご挨拶

全労済大分県本部
総合生協・グループ

理事長 羽明 省三



新年あけましておめでとうございます。
皆様には輝かしい新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年中は全労済大分県本部・総合生協・労働福祉会館・コープ商事・やすらぎ霊園に対しまして、多大なご支援・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

ところで、景気が穏やかな回復基調が続いている中にも、いまだ企業リストラ等により勤労者の所得や雇用は依然として厳しい環境にあります。また、2006年度与党税制改正大綱においても、所得・個人住民税の定率減税全廃などの盛り込まれた項目からは「大増税時代」が鮮明に浮かび上がっています。更

には年金や医療保険料も膨らみ、消費税引き上げも現実味を帯び、勤労者の暮らしにかかる負担増が臨界点に達する懸念もされてきています。このように勤労者を取り巻く情勢が厳しい環境だからこそ、相互扶助を基本に非営利を理念に持つ全労済・総合生協・グループの運動の存在価値が問われるとともに、求められる時代が来たのだと痛感しております。そのために各事業体においては、適正収支の確保ができる経営体質の確立を目指すと同時に経費節減に努め、さらには経営政策の見直しも検討しながら自立経営を目指し、基盤確立に向け全労済大分県本部・総合生協・グループの発展のために、役職員一同懸命に努力してまいります。皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げますと共に、尚一層のご協力を賜りますことをお願い申し上げます。のご挨拶とします。

活動報告

今年度も9月に台風14号が発生し、昨年度に引き続き県下に大きな被害をもたらしました。上期の活動においては、台風被害組合員への迅速な給付対応を最優先に活動しました。また、10月1日の「こくみん共済」の大幅な制度改定に合わせ加入拡大の取り組みを展開しました。2005年度下期では、下記の活動を中心に積極的な推進展開をいたします。

共済事業

- **こくみん共済**の加入拡大を目指します
2007年度末までに750万件（全国）の達成 2005年10月末現在624万件
新聞折込・広告等の告知活動と、金融機関へのPOPスタンド設置拡大により、今年度中、4,418件の純増目標達成を目指します。
- **自然災害共済**の取組み
火災共済とあわせてスポット募集を行うことにより、自然災害共済の加入拡大として火災共済への付帯率アップの取組みをします。
- **マイカー共済**の取組み
制度改定による掛金や内容の有利さを全面に出し、重点団体を設定して、見積書による加入促進等で大幅な契約獲得を目指します。
- **労金住宅ローン専用火災共済制度**の実施
2006年1月1日より、労働金庫の住宅ローン利用者に限定した「労金住宅ローン専用火災共済」を新制度として取扱開始。研修会や説明会を通じ、制度の普及を行います。

介護事業

- **利用者の拡大に努め、心のこもったサービスを提供します**
全労済在宅介護サービスセンターでは「介護なんでも相談（無料）」を受けつけています。

ご相談は、大分県本部推進企画課 TEL097-548-6031
もしくは各支所まで

全労済大分県本部 第3回理事会開催

12月2日、理事16名・監事1名の出席をいただき、2005年度の第3回理事会を開催しました。報告事項として、会議開催状況報告、台風14号被害状況、2005年

度第1四半期全国実績報告および県本部予算・実績差異報告、共済事業の進捗状況、介護事業の進捗状況、その他（共済金支払状況の調査結果と今後の対応）についての報告を行い、全員異議なく満場一致で承認されました。協議事項では、理事の変更、県北支所の移転、全労済ソレイユ4階の改装、

2006年度4月県本部機構共済事業の活動計画、介護事業の活動計画、その他についての提案を行い全員異議なく承認されました。

今後の日程

◆第4回理事会の開催
2006年1月27日（金）

2005年度
第3回理事会開催

去る12月2日にソレイユ5Fにおいて、2005年度第3回理事会を開催いたしました。

協議事項の主な内容は次の通りで、いずれも満場一致で承認を頂きました。

かたしま台団地の販売活動



1月には新春恒例のお年玉特別企画として、特別用地を提供しての建築条件付分譲住宅フェアを1月7日(土)・15日(日)にかけて開催し集客に努めます。

3月および5月には、引き続き建築住宅を建設し、販売会を開催いたします。

「にじが丘」「ゆめが丘」団地の販売活動について

建築条件付価格での販売に努めます。

お知らせ

理事(副理事長)就任

2005年11月1日付(新任)

嶋崎 龍生

(連合大分会長)



リフォーム部の活動について

組合員の中には、リフォーム工事・介護保険適用の工事を行うことを知らない方もまだ多数いますので、教宣活動を行い目標達成に努めます。

旅行事業の下期の重点取組み

旅行センター

「忘・新年会企画」の

取り組みについて
各労組の旗開きや春闘討論集会等の諸会議、新年会、新春互礼会等のイベントの受注に向けての営業活動を進めます。

● 航空パック商品の販売強化
● 歓送迎会の受注の取り組み

CO-OPふらいる店

売上増加の強化に向けて
ふらいる店の事業紹介用のチラシを作成し、店舗内の周辺への営業活動を行い、新規顧客の獲得に努め、また、本店と同様航空パック商品の販売拡大をも強化します。

春の歓送迎会承ります

Co-opふらいる店も取り扱いしています
お気軽にお申し付けください



大分県知事登録旅行業第2-40号

大分県総合生協
旅行センター

〒870-0035 大分市中央町4-1-32
TEL 097-548-5515 FAX 097-548-5551
総合旅行業務取扱管理者 / 羽田 元男

ユニオンパック

出張・観光に便利!

東京2・3日間

お一人様 41,800円~78,500円

旅行代金に
含まれるもの

大分 ↔ 羽田 往復航空券 + 宿泊 & 朝食

■利用期間/
2005.11.1~
2006.3.31



グリーンウッドかたしま台新春お年玉企画

建築条件
付き

宅地限定1区画をお年玉価格でご提供!

区画No.1-5-13

435.19m²
(131.64坪)

1,198万

別荘地を望む好立地!
暮らしを楽しむ
菜園用地
9.8坪程も
お付けした広々宅地
です。

自然の豊しさ、収穫の楽しさを満喫する
フレッシュな毎日、手作り野菜で
ヘルシー＆美味しい食事に!

新春お年玉企画お申し込み要項

平成18年
1/7(土)~15(日)

※1月15日(日)午後5時~17時(1月15日(日)は受付)

● 大分県総合生協と提携工事建築費をさせていただきます。
● 抽選者が3ヶ月以内に関西・東北に引っ越した場合は無効となります。
● 抽選者は、その権利を他人に譲渡したり、他の目的に使用することはできません。
● お申し込みは1区画につき1区画、重複申し込みはご遠慮ください。
● 1月15日(日)午後5時30分からの抽選には、お申し込みされた方が必ずご出席ください。

お申し込み方法

お申し込み用紙に住所・氏名・年齢などの必要事項をご記入の上、お申し込みください。申込書をご持参ください。

受付場所

グリーンウッドかたしま台分譲センター

受付日時

平成18年1月15日(日) 午後3:00~

抽選会場

グリーンウッドかたしま台分譲センター



大分県知事登録旅行業第2-40号 大分県労働者総合生活協同組合

大分県労働者総合生活協同組合

大分県総合生協

大分市中央町4-1-32 ☎(097)548-5577



お申し込み先は
グリーンウッド
かたしま台
分譲センター
0120-557-887
TEL(097)567-2300
http://www.sogoban-kyo.jp/katashinada/

水曜日
定休

インフルエンザの 季節を迎えて

勤労者医療生活協同組合
理事長 なぎら つよし



あけましておめでとう
ございます。

またインフルエンザの
季節がやってきました。
昨年は、B型をはじめ、
A型も流行し、こじれて
肺炎を併発する人もあり
ました。

今年は、東南アジア、
中国を中心に、鳥インフ
ルエンザの小流行（鳥か
らヒトへの感染）が報じ
られています。これは、「新
型」のインフルエンザで
あるため致死率が高く、
もしヒトからヒトに感染
する型になると、数十年
ぶりの大流行になること
が心配されています。残
念ながら、今あるワクチ
ンは全く効かず、抗イン



フルエンザ薬、タミフル
が「ある程度」効くと言
われています。さて、ど
うすればよいのでしょうか。
何でも食べて栄養に気
をつけること、からだを「き
たえる」こと、疲れをた
めないこと、手洗い、う
がいをするなどですが、
決定的な予防法はありま
せん。

行政を中心に進められ
ている発生時の防疫対策
が極めて重要であるわけ
です。もちろん早期の診断
治療が大切です。

祈・御健康

ミバレーに集う

今年で16回目となる大分
協和病院の「組合員交流ミ
バレーボール大会」を寒
風吹く12月4日に開催し、
25チーム約300人の組合員の
皆さんが参加されました。

この大会では、地域の勤
労協役員や体協指導員の方
の協力もあり、年々盛ん
になっています。

試合は田尻小学校と植田
南中学校体育館で予選リ
グを行い、上位8チームが
中学校で決勝トーナメント
を戦いました。



この大会に出場される皆
さんは、日頃から地域でチ
ームを作り練習を行ってい
る方が多く、試合は好ブレ
ーが続出していました。

優勝決定戦は、昨年優勝
のFtマックスと準優勝の日
岡レビンチームの戦いとな

り、熱戦の末に日岡レビン
が念願の初優勝を果たしま
した。また、日岡レビンは
来年の県生協連大会への出
場権を獲得しました。

- 優勝：日岡レビン
- 準優勝：Ftマックス
- 3位：東植田カライズ
- 4位：リバースふじ

昭和の町に タイムスリップ



今年の協和病院健康クラ
ブの「バスハイク」は、11
月10日に参加者約100名が2
台のバスに分乗して豊後高
田の「昭和の町」へ出かけ
ました。



この日は天候にも恵まれ
て懐かしい佇まいの昭和の
町を楽しみ、宇佐の県歴史
博物館へと向いました。
昼食の後には、日本の滝

100選に選ばれている東椎屋
の滝や青空にそびえ立つ大
建寺深見五重塔、安心院ワ
イナリーを訪ねて歴史と芸
術、大自然と食を満喫した
秋の一日でした。

どうなる 医療制度改革



先の総選挙の結果を受け
て構造改革が強力に進めら
れ始めています。この中で
は、社会保障制度改革が大
きな注目を集め、医療制度
改革がその筆頭にあげられ
ており、来年早々に開会さ
れる通常国会への提出に向
けて検討が行われています。

現在、検討されている内
容の主なものは、保険免責
制度を導入して風邪や腹痛
などの低額な医療は全額自
己負担にすることや長期入
院者の食費、居住費を全額
自己負担にすること。また
高齢者の自己負担を1割か
ら2割に引き上げることな
どです。

このほかにも混合診療の
解禁や株式会社法の医業参入
などが検討されていますが、
いずれも患者負担の強化に
繋がるものであり、国民に
大して丁寧な説明が求めら
れています。

新年のご挨拶

大分県生活協同組合連合会
会長理事 足立 勇一

新年明けましておめでと
うございます。

平素より生協県連に対し
まして、各界の皆様のご支
援ご協力に深く感謝申し上
げます。

世界は大きく変革期を迎
え、国内においても経済は
回復基調にあるといわれて
いますが、依然として雇用
問題を始め中小企業等では
厳しいものがあり、個人消
費も横ばい状況です。

消費者を取り巻く情勢は
消費者被害、BSE、食品
の偽装表示等の食の安全な
ど、現実の不安に年金や税
などの将来的不安も重なつ
て、景気回復を実感できる
状況にはありません。

このような中で、昨年は
「食の安全・くらしの安心」
の取り組みで、大分県食品
安全推進条例の制定や、
消費者保護から権利の確立
に向けた「大分県民の消費
生活の安定及び向上に関す
る条例」の改正が行われま
した。

2006年度は、消費者
政策では「基本計画」の作
成、食の安全ではその施策
の実施や点検等課題が山積
しております。

さらに平和の問題では、
人々の平和の願いに逆行し
イラク戦争は泥沼化し、中
東やアジアなどの戦争と報



復テロは、罪のない多くの
市民を死と恐怖に陥り、新
たな憎しみと緊張を生み出
し、また北朝鮮の核開発の
動きも危惧される中、戦争
の悲惨さ、二度と戦争を起
こさないために昨年は敗戦・
被爆60年としての取り組み
を行いました。

環境問題も地球温暖化等
地球規模での環境破壊を克
服し、21世紀を担う子ども
たちが未来に希望をもつて
生き生きと安心してくら
せる社会を創っていくことが
重要となっております。

大分県における生協運動
は、県生協連合会に結集す
る生協は、12生協となり、
組合員数は延べ42万人に達
し、年間事業高も292億円と
なっております。時代は大き
く変わろうとしており、生
協運動においても事業経営
や構造改革の取り組みを徹
底し、新たな展望への基盤
をつくり、組合員の信頼と
社会の期待にこたえられる
生協をつくりあげてゆかな
ければなりません。

最後に、会員の皆さんと
ともに関係各位、皆様方
のご指導・ご支援を心よりお
願い申し上げ、年頭のごあ
いさつといたします。

第15回 大分県 生協大会開催

県生協連に加盟する12の生
協は、生協運動の発展と会員
相互の交流を深めるために、
「第15回大分県生協大会」を
県生協連主催、生協総合研究
所後援で10月13日(木)全労済
ソレイユにて開催しました。
今回は、講演として「食卓
の向こう側」をテーマに西日
本新聞編集委員の佐藤弘氏と
消費生活劇として「悪質商法
あれこれ」を大分県消費者問
題研究会「大分しょうけん座」
の上演をいただきました。

この日は、県下の生協組合
員や役員など約110名が参加
大会は大分県高等学校生活協同組
合の高瀬宏一さんが総司会
者となり、大会が進められ先
ず、主催者として足立会長が
「生協法制定を記念して毎年
開催されています。生協強化
の一つとして昨年末では生協
県連と大分県との共催として
この大会を開催してきました
が本年度から県生協連主催
で開催することになった。
最近の消費者を取り巻く
情勢は、振り込め詐欺や巧妙
化した新規の詐欺事件が増え
ており消費生活問題は後を
たちません。さらに食の安心・
安全問題も県民にとっても深
刻な問題です。
私たち生協の組合員は、賢
い消費者としてパニックに陥
らない対応をしっかりとしな
ければなりません。今日の講演
は時を得たものであります。」
と挨拶し、引き続き来賓とし
て大分県の宮成公則県生活環

境部県民生活・男女参画課長
が「生協は大きく発展し、県
民の生活安定と文化の向上に
努力されていることに礼を
述べて、大分県では「安心・
安全」を県政の中心としてい
る。現在、「消費者の権利・
自立」を盛り込んだ消費者条
例が改正され、基本計画の作
成を行うことになりましたが、
生協からも消費者の立場に立
つた意見をいただきたい、さら
には消費者団体訴訟制度も来
年には法制化されその受け皿
対策を考えなければならな
い、生協連でも検討いただ
きたい。」と挨拶があり、次
いで、小野弘利県議会議長、
齊藤忠夫県労協事務局長の
挨拶がありました。

講演では西日本新聞編集委
員の佐藤弘氏より「食卓の向
こう側に見るもの」と題し
て1時間ほどの講演をお願い
しました。

講演では、最初に参加者
のグリーンコープおいたの
松尾さんに、講演資料の中か
ら「共

移き家
庭の食
卓の様
子とし
て、夫
の朝食
は栄養
ドリンク
を飲
んで出
勤、長

男は食
べずに
学校、
妻はト
ストと
牛乳、
三人は
食卓に
そろつ
たこと
はめづ
らしい
ことな
い。昼
は弁当
屋やコ
ンビニ
ー、給
食、夜
は学習
塾のた
めカッ
プラー
メンと
スポー
ツ飲料
、妻はマ



マさんバレーでデパ地下で既
成パック食品を、夫は「今日
は食べてかえって」と居酒屋
へ」と読んでいただき、それ
を聞いてこのような「食」の
風景で何を感じたのか。か
ら講演がはじまりました。
講演の途中ではテーマ毎に
参加者の感想や自分の生活状
況を聞きながら話しは続きま
した。最後には、日常の食生
活を通じて、食のみならず家
族、地域社会、医療、教育、
産業など現在社会のあらゆる
分野にはいり込み、絡み合っ
ているさまざまな問題がある
と話されました。
引き続きの消費生活劇では
「悪質商法あれこれ」をテ
マに大分県消費者問題研究会
「大分しょうけん座」の上演
をいただきました。
劇は、今社会的にも問題と
なっている悪質商法について
「架空請求」「SF商法」「実
験商法」「訪問販売・過量販売」
「点検商法」が分かりやすく
上演され、消費者被害にあわ
ないよう注意して、万一の場
合は、県消費生活センターに
相談してほしいというもので
ありました。
最後に、大分県職員消費生
協の土居生良彦さんが「私た
ち大分の生協は、組合員一人
ひとりの願いを大切に、地域
や職場、学園に深く根ざした
活動を進めてきましたが、こ
れからも食の安全・安心、平
和や環境問題、福祉や医療・
介護問題等、課題は山積して
いるが、生協と協同を強め組
合員自ら、これからの運動と
活動を成功させましょう」と
大会アピールを読み上げて全
員で確認して、大会は終りま
した。

新年のご挨拶

九州労働金庫大分県本部

県本部長 南 征一郎

新年あけましておめでと
うございます。

昨年は、地区ブロック研
修会開催を機に、「しあわ
せ安心プラン」「フレッシ
ヤーズキャンペーン」取組
みを全県下一斉の取組み、
推進によって大きな成果を
上げることができました。

これは、会員団体や運営
委員会・推進委員会の役員
をはじめ多くの労働者のご
理解とご協力の賜物と厚く
お礼申し上げます。

昨今は治安・食物・住宅
の安全が脅かされている中
ですが、働く者の福祉金融
機関としても本年も「しあ
わせ創造運動（勤労者の「生
活設計」「生活改善」「生活
防衛」）の更なる充実を図
り、家計の健康づくりに貢
献しながら、より「安心・
安全」なろうきん基盤を目
指したいと存じます。

この運動の充実策として
会員・組合員から要望の強
かった「しあわせ安心プラ
ン」の多目的利用を可能に
し、民間保証会社との締結
によって、他社の高金利ロ
ーン利用防止等も行ってい
ます。



今後とも連合大分を始めと
する各労働団体との連携を
強めると共に、運営委員会・
推進委員会との協働作業を
より活発にしていける所存で
ございます。

また、若い組合員の労金
運動参画には、フレッシヤ
ーズキャンペーンやフット
サル企画等の取組継続を行
い、幅広い労働者の結集を
図るため、互助会や社員会
と言った団体にも働きかけ
て、未組織労働者の会員加
入を目指します。

「オラが労金」へ昨年同
様のご理解とご協力をお願い
申し上げます。

皆様にとって、今年も輝
かしい一年でありますよう
祈念して年頭のご挨拶とい
たします。



進学の準備を、低利で応援。

固定金利10年以内返済、変動金利10年以内返済

ろうきん教育ローン

アシスト

奨学金 年利 2.0% (10年以内返済)
奨学金保証料0.7%または1.0%が適用となります。

固定金利 年利 2.7% (10年以内返済)
奨学金保証料0.7%または1.0%が適用となります。

借入額・200万円まで・さらに便利な元金据割返済。

特別金利実施中
05 3 31

九州ろうきん
http://kyushu.rouseikin.jp/

GOOD NEWS!

ろうきんのATMは、
土・日・祝日も手数料
無料です!!

(ろうきんカードご利用の場合に限ります)

ろうきんATM稼働時間延長!!
くわしくはお近くの労金各支店へお問い合わせ下さい。